



♪あかりをつけましょ^{ほんぼり}雪洞に〜♪とひな祭りの歌を保育士が歌うと、和風の雅な曲の調子に

子どもたちはいつもの歌との違いを感じたのか、聞き入っていました。廊下に飾った雛人形を前に保育士が「お雛様きれいね」と言うと、凜とした、たたずまいをじっと見つめたり、指さして「こーあ？」(これは)と何度も尋ね、お雛様への関心や好奇心がいっぱいでした。お行儀良く見ながらも、子どもたちの伸び伸びと自己表現する姿に確かな成長を感じます。

子どもたちの健やかな成長を祝うひな祭りのゆったりした優しい雰囲気、ひと時、社会のあわただしさを忘れさせてくれました。まだ油断のできない社会の動きには落ち着いて対応しながら、子どもたちを守るという気概で、進級に向けての貴重な一日一日を大切に楽しくすごしていきます。

☆ 冬のなごりのプレゼントです

今年の冬、一日だけ雪が振りました。

朝、積もった雪をタライに集め、早速雪遊びを始めました。

子どもたちは指でつついたり、ぐっとつかんだりして雪の感触を面白がって冷たくて指先が赤くなくても遊び続け

とうとう雪は溶けてしまいました。来年も遊びたいですね。



☆ お母さん！応援しています！ ある日の連絡帳より（原文通り）

(育児に家事にお仕事と頑張っているお家の方の連絡帳には、お子さんへの愛が溢れています。ちょっとご紹介してみましょう。)

りんかちゃんのお母さんより(2月の頃)

園の階段の登り降りも1人で出来ているんですね。私はお迎えの時、怖くてつい手を貸してしまう事がありますが、今度から時間のある時は見守っていこうと思います。お家の階段も1人で登り降り出来ました。まだ、ぎこちなくて怖いですが、見守りの子育てを心掛けたいと思います。

(保育士より りんかちゃんはズボンも自分でほとんどはけます。いろいろなことに意欲的です。

出来ることが増えて自信も持ってきました。)

☆ 走るの大好き！ 車も自由自在に動かせます。

寒い時期、外に出られなくても廊下で遊べば気分爽快です。

「よーいドン」の合図で走り始めると、トットトットコ止まりません。コーナーでは体を斜めに傾けて上手に曲がります。保育士も一緒に走ると「きゃ〜」と言いながらにこにこ笑顔で、なんと6周も走り続け、保育士は疲れました。

てんとう虫の車などに乗ると前後左右にスムーズに動かせます。

金魚のヒシのように動く足が面白くて可愛いです。



(福岡 尾崎 有蘭)

すみれぐみだより

令和2年3月10日(火)



寒さが少しずつ和らぎ、日に日に暖かくなってきましたね。早いもので、すみれ組として過ごすのも1ヵ月を切りました。4月の子どもたちと比べると、心も身体も大きく成長しました。「自分でやりたい」という気持ちも芽生え、時間がかかりながらも自分の力で一生懸命やってみようとする姿に嬉しく思います。

子どもたちは、「もう、ちゅうりっぷ組さんになる？」と進級にも期待を持っているようです。徐々に2歳児クラスに遊びに行き、4月から新しい環境に戸惑うことがないように慣れてくれたらと思います計画しています。

～ひなまつい～

3月3日に保育園では、ひなまつい会がありました。女の子は、ピンクのお花がついたゴムで髪の毛を結びました。女の子は、お友だち同士で見せ合ったり、鏡まで見に行ったり…。男の子たちも「お花可愛いね」と言っていました。

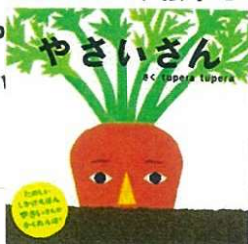
2階の廊下には、お内裏様とおひな様が飾っていて、「こっちはおひなさま？」と聞いたり、「○○ちゃんのおんなじね～」とお部屋に飾ってある自分たちで作ったひな人形と比べたいしていた子どもたちです。

最後はひな人形の前で記念撮影をしました。



やさいさん

「やさいさん やさいさん だあれ」といろんな野菜が隠れています。「すっぽん」と抜くと顔を出す野菜。子どもたちは「さつまいも」や「かぶ」など絵本に出てくる野菜の名前を少しずつ覚えてきています。給食の時間に野菜をみつけると「絵本にあったね」とお友だちや保育士に話す姿も見られます。絵本を通して、たくさんの方に興味や関心を持ってくれたらと思っています。



最後に…

今年1年間、保護者の皆様には、あたたかいご理解とご協力をいただきありがとうございました。

担任：今丸、崎野

ちゅういっぷぐみだより

2020年3月10日(火)

昼夜の寒暖の差はありますが、日に日に春の陽気を感じるようになりました。

4月は一人遊びが多かった子どもたちも、最近では自分から進んで「〇〇ちゃん、××して遊ぼう」と誘い、同じ遊びを共感したり、「こうしようや」と自分の考えを伝えたりして、遊びの幅を広げていっています。もうすぐ進級する子どもたち。「こすもすさんになったら、体操服着るんよね」など、こすもすさんになったら～と進級することに胸をふくらませているようです。少しずつこすもす組の保育室に遊びに行ったり、ランキルームで給食を食べたいして、4月から新しい環境に戸惑うことがないように慣れてくれたらと思います。計画しています。



たのしいひなまつり

3月3日に以上児クラスのひなまつり会に参加しました。緊張しながらも、お兄さんお姉さんと一緒に歌ったり、踊ったりしました。男女ペアになり手を繋いで入場した子どもたちの表情は「どんなことをするのか」不安そうな表情でしたが、会が進むにつれ笑顔が増えていきました。部屋に戻ると「楽しかったね」「たんぽぽさん、こんなんして踊って上手やった」など手ぶり身振り楽しさを一生懸命表現していましたよ。



絵本の紹介

「おひなさまたいけんツアー」

ねずみたちがおひなさまの工房にツアーに行きます。

ツアーの目玉はお雛様や

お内裏様、三人官女などの衣装に着替えひな壇に座れる「おひなさま体験」です。絵本の中ではひな壇に座りながらツアーガイドさんがそれぞれの名前や役目を教えてくれます。ちゅういっぷ組の子ども達も覚えていて、遊戯室にあるひな人形を見ながら「この人が五人ぼやしよね」「あ、泣いとるの一緒やん」など話していました。ひな人形にお別れを言い部屋に戻る途中、「ねずみさんたち居らんやたね」「みんなが帰ったら出てくるんやない？」と話していて、素直な心を大切にしたいなと思いました。



～最後に～

保護者の皆様と子どもたちの成長を共有でき、とても幸せな1年間でした。
あたたかいご理解とご協力を頂きありがとうございました。

ちゅういっぷ組:草場



こすもすだより

令和2年3月10日（火）

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになってきました。少し前までは子どもたちも「さむい〜」と言っている子が多かったですが、「もう寒くなーい！あったかい!!」と春を待ちわびていたかのように、戸外遊びをいつも以上に楽しんでいる子どもたちです。



ひなまつり

「わたしのおひなさま」という絵本を読みました。物語は流し雛のはなしでした。

絵本を読み終わると「早くおひなさま作ろう」という子どもたち。急にどうしたのだろうか疑問に思い、子どもたちに聞いてみました。すると、絵本を読んだ日は熱でお休みするお友だちが多かった日で、おひなさまを作って元気になるようお願いしてあげたいとのことでした。さっそく作り始め、無事に完成すると「〇〇ちゃん・〇〇くんのお熱が下がりますように」と手を合わせてお願いしていました。

ひなまつり当日は、男の子たちがお内裏様になって女の子と手をつないで優しく案内をしたり守ってあげたりしていました。普段はおもしろいことを言ってクラスを盛り上げてくれる男の子たちから真剣な表情で守ってもらえて、女の子たちは恥ずかしそうにしながらも嬉しそうな表情をしていました。



アブラムシのかくれんぼ

クラスに飾っていた花（ガーベラ）のところにたくさんアブラムシがいました。子どもたちは「先生大変！虫がいっぱいいる！お部屋が虫だらけになる！」と見つけた時は大騒ぎしていました。しかし、みんなすぐには動かず観察し「これ、お花でかくれんぼしてるんじゃない？」と子どもたちらしい考えにたどり着きました。それからアブラムシとガーベラをどうするかをみんなで相談し、もっと広いところでかくれんぼができるようにお花がたくさんある所に連れて行ってあげよう！という事になり園庭の砂場横の花壇にガーベラ植えてあげることになりました。子どもたちが少しずつ土を掘り、そのあと優しく砂をかけて植えてあげていました。植えたガーベラを見た子どもたちは「これでもっとアブラムシたちかくれんぼができるね」「砂場の近くだか園庭で砂遊びするときみんなで見つけてあげよう！それまで隠れててね！」と話しかけていました。虫たちの小さな命を大切にしている子どもたちを見ていると心が温まりました。



最後に…

この一年間で子どもたち一人ひとりが、それぞれに大きな成長を見せてくれ、そのたびに嬉しい気持ちでいっぱいでした。また、そんな子どもたちの保護者の皆様とも一緒に、悩んだり喜んだりしながら見守ることができました。一年間、ありがとうございました。



ひまわりだより

令和2年3月10日（火）

寒さの中にも、少しずつ春の温かい日差しが感じられるようになった今日この頃です。『つぼみ』の歌を♪つぼみのなかでお花がねんね、春が来るまで～と歌いながら「桜の木もつぼみがでてたよ」「もう春かな？」と季節の変化に気づいたり、球根から植えたちゅうりっぷの花の成長を見て花が咲くのを楽しみに待っている子どもたちです。

うれしいひなまつり♪

3日（火）にひなまつり会がありました。

女の子の成長を祝う日という事で5歳児が計画を立てていました。男の子から歌のプレゼントやありがとうの気持ちを込めて女の子からも「森のくまさん」の替え歌と踊りのプレゼントがあり、その時にとても心が温まる出来事がありました。

男の子と女の子がペアになり、踊っているところに、お相手がいなくて困っていた山下はるきくん「一緒にしよう」とやさしく手を差しのべていたりょうとくんとみぞたりんかちゃんでした。とてもうれしい気持ちにしてくれたひなまつりでした。



うんとこしょどっこいしょ

たんぼぼ組と植えたキャベツが大きく育ったので、収穫に行きました。3人で「んーぬけん」と言いながら引っ張っていると、それを見ていた子どもたちが集まってきました。「みんなで引っ張ろう」の梶原りんちゃんの一声で、ひまわり組全員が連なって「うんとこしょ どっこいしょ」と引っ張り、おおきなキャベツが抜けました。

なんの料理に変身するか楽しみだね。



今日は木曜日？

毎週木曜日は5歳児が踊りの指導をしていただいています。「たんぼぼさんいまから何するの？」と興味を示して、遊戯室の窓をチラッと覗くことが多くなり、見学させていただきました。

「何踊るんかね？」と話していた子どもたち。たんぼぼさんが踊っているのを近くで見て「すごい、私もしたい」と言っていると、少しだけ参加させていただきました。最後は「またしたいね」「楽しみだね」と次回を心待ちにしているようでした。

ひまわり組としての生活もあと少しとなりました。

5歳児と別れを惜しむ中、進級への期待も膨らんできています。これからも子どもたちの育ちに寄り添っていきたいと思います。

保護者の皆様には、温かく見守っていただき、いろんな場面で、ご協力いただきありがとうございました。

ひまわり組担任・・・中西、桑原



たんぽぽだより

発行：令和2年3月10日（火）

長い冬が終わり、再び春がやってきました。たんぽぽ組へ進級してからの1年間、みんなで一緒に笑い合ったり、悩んだり、時には友だちと思いがぶつかることもありました。その度にたんぽぽ組14名で力を合わせ、みんなで助け合って乗り越えてきました。4月初旬は、まだまだつぼみだった子どもたちも、それぞれが花を咲かせ心の成長をみせてくれました。元気いっぱい14名の笑顔に囲まれ、楽しく過ごすことができました。

♪今日はうれしいひなまつり～

2月の終わりにどんなひなまつり会にしようかと話していると、男の子は「女の子のお祝いの日だから、喜ぶことを考えよう」女の子は「いつも守ってくれるからありがとうの気持ちを伝えよう」と話し合いが始まりました。男の子と女の子がそれぞれ分かれて集まり、時折お互いの様子を伺いながら、お互いがお互いを思い合っって話し合う姿はなんともほほえましく温かい気持ちになりました。当日のひなまつり会では、「日本一高い富士山や元気よく空を泳いでいるこいのぼりのようにこれからも女の子を守ってあげたい」と『富士山』と『こいのぼり』を披露した男の子。少し照れながらも嬉しそうにお礼を言っていた女の子は、そんな気持ちに応えるように、『森のくまさん』を替え歌にしてありがとうの気持ちを歌と踊りで表現しました。お互いの手を取り合っって踊っている姿は、本当に楽しそうに輝いて見えました。小さい頃から一緒に過ごしてきた仲間を想う姿を力強く思い、心の底からぽかぽかと暖まるような一日でした。

おじいちゃんたちまた会おうね！

3月3日にやすらぎ荘のひなまつり会に参加する予定でしたが、今世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいました。「やすらぎ荘で踊るのもこれで最後だね」「おじいちゃんたち喜んでくれるかな」とおじいちゃんたちに会うことを楽しみにしていた子どもたちでしたが、中止になったことを伝える「おじいちゃんたちに踊り見てほしかったなあ」「元気なパワー分けてあげたかったのに」「小学生になっても会いに行こう！」とそれぞれがいろいろな思いを感じて話していました。

七夕まつり会や敬老会、ふれあい昼食会など、この一年間の地域との交流は、子どもたちにとってかけがえのないものになったのではないかと思います。

待ちに待った卒園食事会！

3歳からランチルームで、皆と一緒に楽しくお食事をしてきました。社会の皆さんとご一緒に食事をする機会を作り、13日（金）には、レストランへお食事に行きます。子どもたちは、「レストランってどんなところだろうね」「あぁなんか、ドキドキする」とカレンダーを見ては、食事会の日を今か今かと待ちわびています。レストランでのお食事は、他のお客さんもいる中どんな振る舞いをしたら良いのか考え、ナフキンやフォーク、ナイフの使い方など、マナーを守る経験をする良い機会になることと思います。卒園を目前に控えた子どもたちの思い出の食事会になるのではないのでしょうか…☆



保護者の皆様へ

この一年間で、子どもたち一人ひとりが、それぞれに成長を見せてくれました。保護者の皆様からもたくさんの温かいお言葉をいただきました。皆様と一緒に、悩んだり喜んだりしながら、一緒に子どもたちの育ちを見守ることができたこと、また、一年間支えて下さったことを嬉しく思っています。保護者の皆様の深いご理解とご協力に、感謝いたします。本当にありがとうございました。

5歳児担任：井上・本崎